

大久保 規子

法学研究科・教授

【研究】

今年度は、第1に、前年度に続き、自然の権利に関する学際的な研究プロジェクト(科研費基盤 A:研究代表者)を推進し、サバティカルを活用して、ニュージーランド調査等を実施した。第2に、コミュニティ参加型の自然資源管理に関する研究(科研費国際共同 B:研究代表者)を継続した。そのほかにも、学内では SSI 関連で、協力プロジェクトから SSI プロジェクトとなった学内の生物多様性プロジェクトを継続実施し、学外でも高レベル放射性廃棄物、防潮堤の合意形成等に関する科研等の共同研究に分担者として参加するなど、上記2つの研究を柱に関連する研究を進めた。そして、これらの研究成果について、日本公法学会総会報告、国内学会誌での論文公表、英文書籍への執筆等を行った。

【教育】

前期はサバティカルを取得したため、例年担当している法学部、法学研究科、高等司法研究科の担当授業を後期に集中的に行つた。そのほか、外部連携に係る大学院科目の実施に関し、学内外との調整を行つた。

【管理運営】

特記事項無し。

【社会貢献】

今年度も、日本学術会議第一部副部長として、学術会議の活動に多くの時間を費やした。また、前年度に引き続き、中央環境審議会委員、交通政策審議会委員、大阪府公害審査会委員等、国及び自治体の審議会等で、新たな施策の立案、適正な紛争処理等に努めた。また、環境法政策学会、日本公法学会、環境経済政策学会の理事等として学会の運営に参加した。さらに、NGO等が主催する講演会等において、研究成果の社会還元に努めた。